■ まるごとローカル

漂着ごみ問題を啓発

長崎大「ながさき海援隊」

国際キワニスが認証

海洋ごみ削減を目指し、県内各地で海岸清掃などに取り組む長崎大の学生団体「ながさき海援隊」が、世界三大奉仕団体の一つ、キワニスの学生部門「サークルK」として活動する認証を受けた。国内の大学で6例目、国立大では初めて。

サークルKの認証を受けた長崎大「ながさき海援隊」のメンバーら＝長崎大

国立大で初、清掃や調査継続

長崎市文教町の同大で今月17日、認証授与式があった。長崎キワニスクラブ（水嶋英治会長）の下部組織として支援を受けながら、来年度から本格的に、子どもたちへの啓発活動に力を入れる。

ながさき海援隊は2015年に発足した。水産学部の学生が「長崎の海の素晴らしさを、地元の人にもっと知ってもらいたい」という思いで始めた海岸清掃が原点。現在は他学部からのメンバーも増えた。ほぼ毎週末、清掃や漂着ごみの調査などにも取り組んでいる。本年度はソロプチミスト日本財団の学生ボランティア賞を受賞した。

海洋ごみが国際的問題になる中、メンバーは「拾っているだけでは漂着ごみは減らない。啓発していかないと」と考えるようになった。その機会や方法について模索していた時、子ども支援に取り組む同クラブから「サークルKに認証されれば子どもに関わるボランティアができる」と提案を受け、申請した。認証は10月15日付。

同大医学部保健学科3年で5代目代表の阿部ちひろさん(21)は「学童クラブと一緒にごみ拾いをしたり、小学校で海洋ごみ問題について知ってもらう機会を増やしたい。海外の子どもたちとの活動にも幅を広げていきたい」と意気込みを語った。

（副島宏城）

来年の長崎平和宣言

「大事なメッセージに」

市長会見

田上富久長崎市長は26日の定例会見で、来年8月9日の平和祈念式典で読み上げる長崎平和宣言について、ローマ教皇フランシスコが11月に長崎で発信した核兵器廃絶のメッセージなど盛り込まれる可能性がある要素は多く「大事なメッセージになる」と述べた。

平和宣言文は市長や有識者の起草委員会で来年5月から検討予定。市長は来年春の核拡散防止条約（NPT）再検討会議や8月9日に閉会する東京五輪も盛り込まれる可能性があるとして「どうまとめるか難しい課題となる」と予想した。

教皇の来崎とメッセージを巡っては、長崎原爆資料館での今後の展示方法を含め「ずっと生かし続けるために工夫していきたい」と述べた。

（田賀農謙龍）

長崎の路面電車運行

年に姉妹都市提携40周年を迎えたのに合わせて企画。

長崎市の常設型住民投票

諫早市の
黒木君が
新幹線とま
未来の諫
た「第9回新
くり　絵の
最優秀賞に
小5年の黒木
選ばれた。
2022年
する九州新幹
への関心を高

江戸時代
がクリスマ
んだ「阿蘭
子どもたち
された料理
25日、長崎
商館跡であ
阿蘭陀冬
の日本でオ
ひそかにク
の頭の丸焼
ンなどを楽
イベント
主催。子ど
が参加した
家、岩木み
にシナモン
「カネール
ダ風パンケ
案。参加者